

リード競技用リザルトサービスのためのワークシート

2015/08/29 版

これは競技クライミングのリード種目で成績処理を行うための Excel のワークシートです。順位を出す場合もデータをソートすることなく、成績を成績入力用シートに入力するだけで、リザルト表示用のシートに順位が表示されます。したがって、構成を理解していればマクロ無しでほとんどの処理が可能です。

2 もしくは 3 ラウンド、最初のラウンドで全選手が同一のルートを登る形式の競技会用で、最大選手数は 100 名、最大クォータは準決勝が 50 名、決勝は 20 名です。

基本は IFSC 規則の 2014 年版に準拠していますが、現在の国際大会ではリードの予選はフラッシュで全選手が 2 ルートを登りますので、純粋に国内大会用です。

マクロについては、競技順の生成、データの存在しない行/列の表示/非表示、データの消去がおこなえます。メニュー「アドイン」からマクロを実行できます。

また記録（高度）の入力時に、数値とサフィックス（+）を数値のセルに、例えば「12+」と入力すると、自動的に数値のセルは数値（例では 12）のみになり、サフィックス（+）はその右のセルに入ります。入力の効率はこれでだいぶ良くなると思います。

対応する Excel は 2007 以降で、2010 以降推奨（Excel2003 以前は非対応）です。基本的には 2007 で大丈夫ですが、一部条件付き書式で問題が生じる可能性があります。

なお、入力されているデータは実際にあった大会名のものでダミーですので、ご承知置き下さい。

構成

全部で 8 枚のシートからなっています。

“初期設定”は競技会の主催者、名称、会場など最終的なリザルトのヘッダ部分のデータ、そしてラウンド数、各ラウンドの最終的な定員を入力します。また、このシート右側の“用語定義”で、ヘッダなどに表示される単語（1/4 決勝、1/2 決勝、starting order など）の表示を変更できます。“選手名簿”は、選手名簿です。

各ラウンド用のワークシートは合計 5 つで、予選と準決勝は各ラウンド名（“予選”、“準決勝”）だけのものと、それに“成績”のついたものがありますが、決勝は成績入力用のみです。

その他に“最終成績”があります。これは最終的な成績を出力するためのものです。

フォントは、“適宜変更してください”。

列幅、行の高さ、不要な行、列の非表示、罫線の太さなどについても同様に、変更可能ですが、競技順や総合リザルトには条件書式を使用していますので、変更しても見た目が変わらない場合があります。

また、VLOOKUP 関数を多用していますので、セルや列、行を削除（データの削除ではなく、行や列、セルそのものの削除）すると参照関係が崩れ、参照エラーとなることがあります。

使用法

基本データの入力

まず“初期設定”に必要な事項を入力します。

なお“初期設定”シート表示時には、メニューからマクロを実行してこのシート上だけでなく選手名簿、各ラウンドの記録をマクロで全て消去して初期化することができます。他のシート上では、そのシートのデータのみ削除です。

競技会の名称や主催者関係は、どこにどのデータが入らなければならないということはありません。ヘッダに表示される順に並んでいるので、日程以外は“主催者1”などと言った項目名にこだわらず適宜、必要に応じて入力してください。

なお、日程、カテゴリー、ラウンド数はリスト入力やで入力します。

また、各ラウンドの定員については、当初は予定数を入力しておいてください。最終的な定員は、実際に競技順を作成するときにダイアログで指定します。

2008/08/10版で、「決勝の省略」という項目を追加しました。これは、悪天候などで決勝が実施できなかった場合にチェックを入れると、総合リザルトの決勝欄に準決勝のデータがそのまま入ります。

次に選手名簿を入力します。選手名簿はどのような基準であれ、何らかの順番に入力する必要も、事前にソーティングする必要もありません。

“競技順指標”欄(=WR)は、国際大会との整合性のために項目として残してありますが、競技順の生成には影響しません。何か必要な表示項目があればそれに使用することができます。

同時に各シートで不要な項目については、その列を非表示にして隠してください。

予選の競技順

マクロ化されているので、“選手名簿”表示時のメニューの「リード処理」で競技順作成を選択します。

マクロを使わない場合の手順を一応書いておきます。

“選手名簿”でF9キーを押して再計算をかけると、J4からJ103のセル(J列は非表示になっています)に新しい競技順が生成されます。これをコピーし、A4～A103に**数値のみ**ペーストします。A4～A103に手動で入力することも可能です。

なおB列の「競技順指標」は、IFSCの世界ランキングのような基準に基づいて競技順を作成するためのものです。準決勝以降の競技順作成の際に、ここに数値が入っていると、その数値の降順に早い競技順が割り当てられます。

またA4～A103に競技順が入った後、ソートをかける必要はありません。ここに競技順が入力されると自動的に、“予選”シートに競技順に選手名などの各項目が表示されます。また“予選”シートG7(右側のセルと連結されている)の表示内容は、メニューで各ラウンドの「競技順」と「入力画面」に切り替えられます。「競技順」では8行目の表のヘッダが簡略化され、「記録」「順位」などの文字が表示されなくなります。この状態で、競技順リストを出力し、その後「入力画面」に切り替えて入力作業をおこないます。また、データを入力してある状態でも、「競技順」に切り替えると、入力されているデータは非表示(文字色が白)になりますが、データが消えるわけではありません。入力開始後に競技順リストを出力しなければならない場合を考えて、このような仕様にしてあります。

以降のラウンド(準々決勝から準決勝、準決勝から決勝)でも、競技順生成の作業を、先立つラウンドの“成績”のシートでおこないますが、基本的な手順は同じです。準決勝の競技順は“予選成績”上で再計算後、Q9～Q108をO9～

0108に**数値のみ**貼り付けます。決勝の場合は、“準決勝成績”上で再計算後、R9～R58をP9～P58に**数値のみ**貼り付けます。なおこれらの列はいずれも通常は非表示になっています。

数値のみを貼り付けるセルに競技順の計算式を直接入れてしまうと、再計算の都度（と言うことは、何らかの入力がある都度）、同着の選手の競技順が変わってしまうことになります。面倒でも必ず数値のみを貼り付けてください。

2ラウンドの場合

参加者数が少なく2ラウンドで実施する場合、“初期設定”の“ラウンド数”に2を指定します。すると自動的に“準決勝”及び“準決勝成績”シートが非表示になります。操作手順は上記と同じです。

競技順リスト及び記録の入力

“予選”、“準決勝”、“決勝”の各シートは、競技順リストと成績入力シートを兼ねています。各シートの7行目の表示は、メニューまたはフォームのボタンで「競技順」と「入力画面」に切り替えられます。「競技順」にすると、リストの右側2～3列分の表題が消え、列間の縦罫線も表示されなくなります。競技順を新規に作成した直後はこの状態になっています。この状態で印刷出力した後、「入力画面」に切り替えて入力作業を行います。

記録欄は左右に分かれています。左側が高度（手数）の数値、右側がサフィックス=+です。紙上の記録でノーマルにNを記入される方がいますが、ここではノーマルの場合は何も入力しないでください。

先に書いたように、高度の欄に高度とサフィックスをつなげて入力すると、自動的に両者を分けてそれぞれのセルに入力してくれます。

完登は「top」です。大文字でも小文字でも（1バイト文字でも、2バイト文字でも）大丈夫です。

記録が入力されると自動的に順位が表示されます。準決勝と決勝では、そのラウンドだけの順位とカウントバック適用後の順位の両方が表示されます。

また、準決勝以降のラウンドで競技をしなかった選手が出た場合、高度数値の欄に“棄権”（厳密には“初期設定”シートの“棄権”の項で定義した言葉）を入力してください。

成績と次のラウンドの競技順

各ラウンドの成績は“予選成績”、“準決勝成績”の各シートに、成績順で表示されます。最終的な成績は“最終成績”です。いずれもソートする必要はありません。と言うより、下手にソートしないでください。

マクロで次ラウンドの競技順を作製する場合は、まずダイアログが表示されますので、上位ラウンドへの進出者（定員）を指定してください（マクロを使わない場合は、“初期設定”の次ラウンドの定員を入力した上で、操作する必要があります）。

各シートとも、マクロで不要な行を隠すことができます。メニューまたはフォーム/ダイアログで“不要な行を隠す”を選択すると不要な行（シートによっては不要な列も）が表示されなくなります。通常は、オーダー作成の段階で、関係するシートの不要な行、列はマクロで非表示になっています。

成績と競技順のアップロード

各ラウンドの競技順と成績をExcel上から直接ウェブサイトへアップロードする機能です。「ローカル側ファイルパス」で指定したフォルダーにHTMLファイルを作成し、それを「サーバー側ファイルパス」で指定したディレクトリにFTPでアップロードします。なおこの機能は、Windowsでのみ使用可能です。

使用法は“初期設定”シートの、「サーバー側ファイルパス」、「ローカル側ファイルパス」（それぞれ絶対パス）、FTPサーバーの「サーバー名」、「ユーザー名」、「パスワード」を使用しているサーバーに合わせて設定します。

「サーバー側ファイルパス」、「ローカル側ファイルパス」で指定したパスが存在しない場合、警告ダイアログが出て、必要なディレクトリ、フォルダを自動生成します（パス指定が根本的に誤っていない限り）。

「フッター」は生成されるHTMLの一番下に表示するコピーライトなどです。

アップロードファイル名は、大会名を識別するためのもので、任意です。

CSSは競技順用とリザルト用を別々に指定できます。ファイル名は「競技順用CSSファイル名」、「リザルト用CSSファイル名」で任意のものを指定できます。相対パスをつけて指定することもできますので、競技順や成績のHTMLファイルとは別のディレクトリ、フォルダーにおくことも可能です。

内容は添付のサンプルを見て、適宜修正してください。

なおCSSファイルは手動でアップロードする必要があります。

利用は、それぞれのシート表示時のメニューから「〇〇競技順アップロード」、「〇〇成績アップロード」を選択するのみです。

注意

・このシートの使用/再配布は自由ですが、使用した結果について、作者は一切の責任を負いません。自己責任において使用してください。また、現行バージョンは基本的にベータ扱いです。バグなどお気づきの点は下記までお知らせください。

日本フリークライミング協会 競技委員会 山本和幸 (tricam7@gmail.com)

2015/08/29 版の変更点

・2015/06/12 版での変更時のミスで、決勝成績のHTML出力ができないバグ及び決勝で時間記録が参照されたときに最終成績の順位が正しく表示されないバグの修正。

・ユニコードにしかない文字が氏名などに含まれている場合、HTML出力ができなかったのを修正。

2015/06/12 版の変更点

・2010/05/01 版で修正した、最終成績が決勝全成績が入力されないと正しく表示されないバグの再修正。

2015/05/24 版の変更点

・5/23 版の対応が不完全だった（1位が単独で2位が複数いた場合に正しい結果が表示されない）のを修正。

2015/05/03 版の変更点

・IFSC ルール 2015 に従い、決勝で同着の場合に時間記録を考慮するのを3位以内のみとした。

2014/12/26 版の変更点

・準決勝以降のラウンドで、棄権した選手の成績の扱いが不完全だったのを修正。

2014/11/08 版の変更点

・「初期設定」シート上の競技順、成績アップロードのための諸設定が空欄だと、メニューにアップロード関係の項目が表示されないように変更。

2014/08/22、30 版の変更点

・言語変更関係の古いルーチン呼び出しが残っていたのを削除。

2014/08/12 版の変更点

・項目として選手の生年を追加し、全体のレイアウトを修正、言語変更機能を削除し、日本語のみの対応とする。

- ・競技順とリザルトをFTPサーバーに直接アップロードする機能の追加。

2013/06/08 版の変更点

- ・決勝シート、最終成績シートで、時間記録を参照しなくとも順位が分かる場合に、時間記録欄の背景色がグレースケールになる条件付書式の修正と追加。

2013/04/28 版の変更点

- ・Excel2010 の、条件付書式の仕様変更への対応（追加）。

2012/11/29 版の変更点

- ・Excel2010 の、条件付書式の仕様変更への対応。

2012/08/16 版の変更点

- ・スーパーファイナルの廃止に伴い、マクロ処理のルーチンの一部が削除されたが、それを呼び出す部分が残っていたため、予選から後のラウンドの競技順生成ができないバグを修正。

2012/06/26 版の変更点

- ・高度記録入力時に、サフィックスを数値と同時に入力すると自動的に分離する（「記録」欄の左側のセルに「18+」と入力すると、左側のセルに「18」が、右側のセルに「+」が入力される）が、すでにサフィックスが入力されている場合に、サフィックスのない数値を入力すると既存のサフィックスを消去する（左側のセルに「18」、右側のセルに「+」が入力されている状態で、左側のセルにサフィックスの無いデータ＝「18」や「top」を入力すると、右側のセルが空欄になる）仕様に変更。

同時に「-」（マイナス）のサフィックスを入力できないように変更。

2012/06/21 版の変更点

- ・最終成績の時間記録が、存在しない場合は「00:00」ではなく空白になるように修正。

2012/06/20 版の変更点

- ・IFSCルール2012に対応し、スーパーファイナルを無くして、決勝の成績要素に時間記録を加えた。同時に、「決勝成績」と「スーパーファイナル」のシートも削除。

2011/05/05 版の変更点

- ・スーパーファイナルの最終成績が全データが入力されないと正しく表示されないバグの再修正。またデータのない行の表示/非表示の切り替えをトグルではなく独立させました。競技順に名前のある選手がキャンセルした場合など、成績の下端にデータのない行が生じます。これを隠すのに従来は一度全ての行を表示してから不要な行を隠していましたが、メニューの「必要な行のみ表示」だけでこれができるようにしました。

2010/05/01 版の変更点

- ・準決勝以降のラウンドの全データが入力されないと、最終成績が正しく表示されないバグの再修正。

2010/01/03 版の変更点

- ・準決勝以降のラウンドの全データが入力されないと、最終成績が正しく表示されないバグを修正しました。これは、かなり大規模な改変なので、バグが残っている可能性がありますので、使用の際はご注意ください。

2009/11/01 版の変更点

- ・準決勝、決勝の競技順作成時のクォータ変更がダイアログからおこなえないバグのフィックス。

2009/06/10 版の変更点

- ・各シートの外罫線を太くした他、細かいバグのフィックスと外観の変更。

2009/05/10 版の変更点

- ・ラウンド数の変更が作動しなかったバグの修正。

2009/01/09 版の変更点

- ・一部の変数名に誤って予約語を使用していたのを修正。

2008/12/10 版の変更点

- ・リザルトのシート最下部の「OPEN THE ISOLATION」他を「初期設定」シートで定義できるように変更。
- ・カテゴリの指定をラジオボタンからセルのリストボックスに変更。
- ・決勝の省略の指定をチェックボックスからセルのリストボックスに変更。
- ・ラウンド数の指定をラジオボタンからセルのリストボックスに変更（EXCELのみ）。これらはExcel2003との互換性のためです。

2008/11/10 版の変更点

- ・競技順作成時にラウンド名の表示が消去されるバグのフィックス。
- ・2ラウンドで、予選に当日キャンセルが出た場合、総合成績で選手名が余分に表示されるバグのフィックス。

2008/8/10 版の変更点

- ・IFSCルール2008-2009に準拠したほか、一部の数式を整理しました。

2007/6/17 版の変更点

- ・入力が必要なセルへのアクセスの禁止をメニューで変更しても、またすぐに戻ってしまうバグを修正しました。

2006/12/26 版の変更点

- ・入力が必要なセルへのアクセスの可否をメニューで変更できるようにしました。

2006/9/14 版の変更点

- ・Super決勝のデータ削除のマクロで時間記録が削除されなかったものを修正しました。
- ・競技順作成時に、ダイアログで進出者数を指定できるようにしました。
- ・メニューダイアログを廃止しました。

2006/7/21 版の変更点

- ・SuperFinalで、2006年のUIAAレギュレーションに準拠し所要時間を考慮できるようにしました。
- ・データ入力が必要な部分以外のセルへアクセスできないようにしました。

2006/7/8 版の変更点

- ・準決勝の競技順作成方法を、2006年のUIAAレギュレーション準拠に改めました。

2006/4/17 版の変更点

- ・準決勝のデータ消去マクロのバグを修正しました。また一部数式のバグを修正しました。

2006/1/**版の変更点

- ・高度入力時のサフィックス入力補助の際の動作（一瞬エラー表示になる）を改善。不要な行を隠すマクロのバグフィックス。
- ・シートを変更した際の、カレントセルの自動補正マクロを仕様変更しました。
- ・複数のブックを開いた場合、その内の一つをクローズするとメニューバーから処理用のメニューが消えてしまうことに対処。ついでにメニューバー上の項目名を「リザルトサービス」から「リード処理」に変更。
- ・マクロの呼び出しをメニューバーに「リード処理」を加えてここから呼び出すように変更しました。またメニューで、ユーザーフォーム（ダイアログ）を表示させてコントロールすることも可能です。
- ・同時にユーザーフォームが勝手に表示されることはなくなりました。

2005/12/23 版の変更点

- ・Excel2000以降の対応に変更。